

のびのびと遊ばせたい

でも密にならないか心配・・・

→市内320か所！公園
で思い切り遊べます

栃木市内には、小さな公園から大きな公園まで合わせて、全部で320か所の公園があります。

お子さん向けの遊具がそろった公園をはじめ、健康器具や運動の環境がそろった公園、景色を楽しめる公園など、バラエティ豊か。

感染症拡大で家にこもりがちな毎日。感染症に気を付けながら、ぜひお子さんと一緒に身近な公園に出かけてみませんか？



家族で栃木市に移住したい！

でも住まいのことが心配・・・

→各種の移住・定住支援制度を利用できます！

IJU(移住)ターンで栃木市に移住する方や市内で住み替える方を対象とした「まちなか定住促進住宅新築等補助金」や「市内住み替え補助金」など、各種の住宅補助制度があります。お子さんの人数に応じた加算金も！

詳しくは地域政策課
(☎21-2453)へ。



医療費の助成があって助かる

でも子どもが大きくなったらなくなっちゃう？

→栃木市では「中学3年生」まで助成します

栃木市の「こども医療費助成制度」は、お子さんが病気やケガで健康保険が適用になる診療を受けた場合の医療費(一部負担分)を市が助成する制度です。

栃木市では、中学3年生修了まで助成します。また、窓口負担が不要となる「現物給付」方式です。



最近子どもが元気がない

いじめられたりしていないかしら・・・

→「栃木市青少年育成センター」で相談できます

栃木市青少年育成センターでは、いじめ相談の専用ダイヤル(☎24-0667・平日9時~17時)を設置しています。事前に予約をしていただくことで、受付時間外の対応も可能です。気になることがありましたら、ご相談ください。



まだまだあります 栃木市の子育て支援



栃木市では、今回ご紹介したほかにも、様々なメニューで子育てを支援しています。詳しくは、栃木市ホームページ「子育て・教育」サイトをご覧ください。

子育て事業・支援施設

- ・妊産婦医療費助成、赤ちゃん誕生祝金、各地域子育て支援センター、児童館、ファミリーサポートセンター、思いやり駐車スペース、ショートステイ など

保育・児童の支援

- ・病児・病後児保育、家庭児童相談室、各地域学童保育、子ども食堂 など

児童・生徒の支援

- ・就学援助制度、不登校児童生徒適応指導教室、帰国・外国人児童生徒支援、青少年育成センター など

正直、学費の負担が重い・・・

でも希望する学校には行かせてあげたい

→栃木市の奨学金や補助制度もご検討ください

栃木市では各種の奨学金制度を設けています。貸付型のほか、給付型の奨学金や、卒業後栃木市に定住すると返済が免除となる「住みえる奨学金」も。

また、首都圏に東武鉄道で通学する場合、定期券等の補助をする「通学版楽賃」の補助も。ぜひ市ホームページで内容をご確認ください。



子育ての悩みは すこやか子育て相談室へ

平成29年に、市の栃木保健福祉センター内にオープンした、子育て世代包括支援センター(愛称「すこやか子育て相談室」)。母子手帳の発行から、妊娠・出産、子育ての悩みなどの相談を、ワンストップで受けることのできる窓口を設けています。

すこやか子育て相談室の 3つの特徴

対象は18歳まで

妊娠・出産から、お子さんが18歳になるまで相談を受け付けます。お子さんが就学した後のお悩みも、ぜひ気軽に相談ください。

専門職が対応します

保健師や助産師、子どもの発達や子育て支援の専門職などが、お子さんの発達段階に応じた切れ目のない支援を行います。

電話や訪問での相談も

栃木保健福祉センターから遠くにお住まいの方など、電話や訪問相談も行っています。お気軽に問い合わせください。

こんなお困りごとがありましたら ご相談ください！

うまく授乳ができない／赤ちゃんの体重が増えているか心配／なんで赤ちゃんが泣いているかわからない／身近に子育てを手伝ってくれる人がいなくて不安／自分自身のこと、家族のことで心配事があり悩んでしまう／産後に利用できるサービスが知りたい など

すこやか子育て相談室

(栃木保健福祉センター内・今泉町2丁目)

受付 平日8時30分~17時

(受付時間外に相談希望の方はご連絡ください)
問合先・電話相談 ☎233505

